

東鷲宮病院FAX通信



～ 消化器センター・内科 ～

2017年（平成29年）12月号

消化器センター長 木原 昌則（きはら まさのり）

日頃より皆様方にはお世話になり有難うございます。

私が当地に赴任したのは2011年の東北の震災直後になります。

以降、微力ではありますが地域医療に貢献するべく邁進しております。

今回、当消化器センター（内科）についてご紹介します。

●主な診療内容

①内視鏡検査、治療に力を入れています

消化管出血止血術 静脈瘤治療 消化管ポリープ切除（図1） 早期悪性腫瘍の粘膜下層剥離術（図2） 総胆管結石の内視鏡治療（図3） 胆管悪性狭窄の内視鏡治療 消化管狭窄病変へのステント挿入（図4） 胃ろう造設術など

②慢性炎症性腸疾患～潰瘍性大腸炎・クローン病の治療に力を入れています

抗TNF- α 抗体投与 顆粒球除去など

③ヘリコバクターピロリ除菌療法

三次除菌（自費）もしております

④その他

嚥下内視鏡 非アルコール性脂肪肝炎 C型肝炎 B型肝炎 逆流性食道炎 胃潰瘍 機能性ディスペプシアの治療など

●『日頃こころがけている事』

①小さな病院が得意な事

（当院は163床の小規模な病院です）

・外科・内科の垣根のない診療

腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）等の技術的なことをはじめ内科・外科のスムーズな連携を意識していますので、内科での診断・評価から手術まで長期間お待たせするようなことはありません。

・素早く丁寧な対応

必要な緊急検査は迅速に施行するのはもちろんですが、予約検査も『検査待ち日数ゼロ！』を意識し、日をおかずに検査できるようこころがけております。

・優しく丁寧な対応

手術や処置に関して十分にインフォームドコンセントを行い患者さんが十分納得したうえで施行いたします。また内視鏡検査の結果をはじめ採血結果なども結果用紙をお示ししながら患者さん自身に説明するなど、ご自身の疾患をしっかり理解できるように努めております。

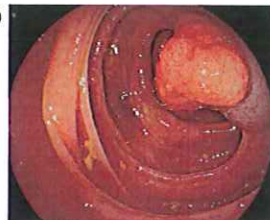


◎2016年の主な診療実績

- ・上部内視鏡検査 1594件
- ・下部内視鏡検査 770件
- ・消化管ポリープ切除 187件
- ・粘膜下層剥離術 12件
- ・消化管止血術 26件
- ・胃ろう造設術 27件
- ・食道静脈瘤治療 4件
- ・消化管ステント挿入 2件
- ・ERCP（胆管系治療） 27件



（図1）



結腸ポリープ切除術

（図2）



早期胃がんに対する粘膜下層剥離術

（図3）



総胆管結石治療の治療

EST内視鏡的乳頭切開術+

EPLBD内視鏡的乳頭ラジバルーン拡張術

（図4）



食道がんに対する食道ステント挿入

②安心・安全な医療の提供

・ガイドラインやエビデンスを重視した医療の提供と技術向上

学会活動、研修会や勉強会への参加、ハイボリュームセンター（治療例数の多い病院）での研修等を行うことにより技術の維持・向上に努めております。

・楽な内視鏡検査の提供

経鼻内視鏡を積極的に取り入れております。また希望があれば鎮痛・鎮痛剤を使用した検査を行ったり、検査入院も考慮いたします。

③適切な紹介先

・背伸びし過ぎない安全で確実な医療の提供

治療が困難だと予想される場合は適切な高次医療施設を紹介いたします。紹介先は患者さんの希望も合わせて判断しますが、その治療を得意としている病院を提案したうえで決定いたします。

以上、消化器系疾患が疑われる患者さんはぜひ当センターにご紹介ください。

